



お花屋さんの店先に菜の花や桃の花が並び、風は冷たくとも陽の暖かさに心和らぐ季節となりました。

先日の生活発表会には、お忙しい中お越しくださり、ありがとうございました。それぞれのグループのカラーを感じさせる楽しい発表となりました。ストーリーを展開していくときに、アイデアを出し合い、相談して表現方法を模索します。お友だちの自由で素敵な発想に対する驚き、自分の意見が採用された時の嬉しさ、みんなで合わせて舞台を作り上げる充実感。今までの毎日を共に過ごしてきた仲間だから、大人も子どもも、それぞれの個性を認め合って出来上がった関係。継続は力なり、日々積み重ねてきたことが、あの発表した劇遊びにつながっているのでしょう。

「人生は紙飛行機 願ひ乗せて飛んで行くよ 風の中を力の限り ただ進むだけ その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番大切なんだ さあ 心のままに 365日」ゆめ組さんの歌声は心に届きましたね。もうすぐ卒園の日を迎えます。みんなで成長を喜び、送り出したいと思います。

また、今も先へと続く未来に向かう過程です。乳児クラスでも、入園・進級の時にはハイハイしていた、片言だった子どもたちが、歩き、走り、思いを言葉にして心を通わせることが出来るようになってきています。成長を実感し、喜びに包まれて春を迎えます。子どもたちみんなに「だいすきだよ ありがとう」の気持ちを込めて、一年の締めくくりを丁寧にしたいと思っています。

新村 久美子

先月、積み木遊びについてご紹介しましたが、各保育室には、ままごと・絵本・ゲーム・お絵描きなど他にも様々なコーナーを用意しています。子どもの成長に合わせて玩具の種類や部屋の使い方を工夫することで、自分で遊びを見つけて選び、楽しむ姿が見られます。保育士が遊び方を丁寧に伝えながら一緒に遊び、じっくりと集中して取り組めるように関わっています。また、子どもたちが興味のあるコーナーを広くしたり、玩具の種類や数を増やしたりし、更に遊びが広がるように心がけています。すると「一緒にしよう」と友だちを誘ったり、積み木やお絵描きなどは「続きしよう」と継続して楽しんだりしています。

自ら選んだ遊びに取り組むことで、自主性や独創性、創造性を伸ばし、物事に集中して取り組む力を身につけていくと言われています。これからも、成長発達や課題に応じて、「やってみたい」「もっとやりたい」と思えるような環境を整えていきます。

和田 京子



ゲーム



ままごと

3月の予定

ひなまつり 2日(金)
誕生会 7日(水)
お別れ会 16日(金)
卒園式 23日(金)

体育遊び 6日(火)・14日(水)
お別れ遠足 9日(金)雨天決行
避難訓練 日時・火元不明
発育測定 26日(月)～28日(水)





あさひぐみ

先月は、パズルでたくさん遊びました。最初はピースがどこにはまるのか分からず、すぐ保育士に聞いたり、途中で諦めたりしていた子どもたち。しかし、何度も繰り返し遊ぶことで、自分で考えてしようとする姿が増えています。「ここでもない」「こっちでもない」と試行錯誤しながらどこに合うのか探し、最後までできると嬉しそうな笑顔を見せています。また、お友だちが難しそうにしていると、教える姿も！教えてもらうことが嬉しいときと、自分でしたいから「イヤ」と怒ってしまうときとがあります。そのようなときは保育士が仲立ちをし、子どもの思いを言葉にすることで、お互いの気持ちにも少しずつ気付けるようにしています。

食事では、スプーンを使いながら意欲的にパクパクと食べています。「おいしいね」とお友だちや保育士の顔を見て話す子どももあり、そのような姿を見ていつも心が温まります。楽しい雰囲気の中で食事をするをこれからも大切にしていこうと思います。

今月は暖かい日にお散歩に出かけたり、戸外でのびのびと体を動かしたりして遊ぶ予定です。あさひ組として過ごすのもあと少し。残りの一ヶ月も元気に楽しく過ごしていきます。昨年の4月から保護者の方と共に子どもたちの成長を一番近くで見守れたこと、本当に嬉しく思っています。一年間、色々のご理解とご協力をいただき、ありがとうございました！

岡崎 七重



ひかりぐみ



先月は屋上園庭やひだまりで体を動かし遊びました。サーキット遊びは、巧技台を高くしたり、ジャンプで渡る場所を作ったり、少し難しく設置した遊具に興味津々で「早くやりたい」と積極的な子どもたち。実際に挑戦し、「できない」と困っている姿も…どうするのか？と見守っていると、お友だちを観察したり、色々な方法を試してみたり自分なりに工夫していました。そして、再度チャレンジ！見事成功して「できた！」と飛び跳ねながら喜んでいました。屋上園庭では、むっくりくまさんを取り入れました。「くまさん。起きて」と子どもに言うのと「食べちゃうぞ～」とくまのポーズをしながら追いかけて♪「もう一回したい」と子どもたちもノリノリです。

着脱の際には、自分で意欲的に行い、「〇〇ちゃんもあるよ」と取って来ます。マークを理解しお友だちを手伝う姿を見ると、少しずつお兄さんお姉さんになっているんだなと感じます。ひかり組として過ごすのも残り一か月となりました。成長をたくさん側で見守ることができ嬉しい限りです。今月も引き続き、にじ組保育室での過ごし方や遊び方を丁寧に伝えます。また、一人ひとりの思いに寄り添い、声をかけ安心できる環境を作ります。最後になりましたが一年間ご理解とご協力ありがとうございました。

山口 直華



にじぐみ

今年度もあと1ヶ月となりました！少しずつ身の回りのことを自分でするようにになると、「ここはこうするんだよ！」と、友だち同士で教え合い、できた喜びを共有する姿が見られました。4月当初の頃を思い出し、子どもたちの成長を嬉しく思います。先月から移行保育に入りました。新たな環境の中で刺激を受け、気づきや学びを深められるように個々の援助を丁寧に行います。

運動遊びが大好きなにじ組さん。おおかみゲーム、しっぽとりなど少しずつルールを理解できるようになっています。勝敗のあるゲームでは、負けて泣きながらも勝とうと頑張る子どもたち。遊びを通して悔しさ、嬉しさをたくさん経験しました。今月は異年齢のお友だちとの活動を楽しめるように、保育士が遊びに誘ったり側で一緒に参加したりします。

進級への期待と自信を持って新年度を迎えられるように、一人ひとりのその子らしさを大切にすることを心がけます。1年間ありがとうございました！ 波田野 亜沙美

うさぎグループ



今年度最後の月となりました。進級を前に移行保育が始まり、子どもたちの期待と不安を丁寧に受け止め、安定して楽しく過ごせるように配慮をしていきます。4月から色々な遊びや行事を経験していく中で、一人で頑張るのではなく、友だちと一緒に励まし合いながら取り組むことで自分の力を発揮した子どもたち！パワーを感じると共に背中を押され続けた担任でした…(笑)子どもたちに心から感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとう！

先月の生活発表会では、一人ひとりの個性が見られたと思います。一つのお話遊びをグループ全員で演じる楽しさを共有した達成感を自信に繋げ、次への意欲を持って進級できるよう見守りたいと思います。

今月は、生活に見通しを持って自分で考えて行動することを目標に、一人ひとりを見守り、やる気スイッチが入る援助を心がけ、安定して過ごせるように努めていきます。また、わらべ歌を皆で声を合わせて歌ったり、歌いながら体を動かしたりして遊べるよう楽しみます。

保護者の皆様、この一年至らない面が多々あったと思いますが、ご協力、ご支援に心より感謝しています。ありがとうございました。

黒田 博子



きりんグループ

生活発表会を終え、また一つ逞しく見えるようになった子どもたち。したいことを言うだけでなく、みんなの意見をまとめたり、みんなが楽しんで参加出来るように工夫したり。子どもたちが主体となって広がっていく遊びの様子を見て、4月から積み重ねてきた“きりんグループ”で過ごした時間が、かけがえのないものであったことを感じます。1年間を共に過ごせたことを本当にうれしく思います。ありがとうございました。

先月の中旬から移行保育が始まり、いよいよ次の学年に対する意識が高まってきました。新しくお部屋に來たにじ組さんも、少し緊張している様子ですが、そら組が中心となって関わり、新しい絆が生まれようとしています。「自分でなんでもやってみたい」「年下のお友だちのお手伝いをしてあげたい」という子どもたちの意欲を認め、状況に応じた言葉を掛けたいと思います。

今年度の最後、そして来年度の準備となる今月は、グループで過ごす時間を大切に、子どもたち同士で触れ合う遊びを積極的に行いたいと考えています。「やったね」「できるようになったね」と自信を持てるような声を掛け、子どもが安定して過ごせるようにします。

山下 奈緒美



ぞうグループ



今年度も残り1ヶ月になりました。先月は、たくさん表現遊びをするなかでどの役でも演じることができるようになっていました。生活発表会の日を楽しみにしていたぞうグループさん。「ドキドキしたけど楽しかったね」などと、部屋に戻って来て自分たちの思いを伝え合っている姿に大きく成長したなと感じ嬉しく思います。

生活面では、感謝の気持ちを持って食事をすることを大切にしています。秋に植えたほうれん草を収穫し、給食室に持っていきました。ゴマ和えや、おかか和えなど味付けを変えてもらおうと、ゴマ和えが人気で「お願いしに行く」と張り切っています。また、給食の先生が見に来てくれると「いつも美味しいご飯をありがとう」と伝え楽しく食べています。

移行保育があり、5人のにじ組さんと過ごすようになりました。「先どうぞ」と譲ったり、「手伝おうか？」と声を掛けたりする姿が見られ、さらにお姉ちゃん・お兄ちゃん意識が強まっているようです。その姿を認め自信に繋げていきます。

保護者の皆様には、協力いただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

大崎 鮎